

病院病理部

1) 研修スケジュール カンファレンス (病理・臨床病理・卒後センター関係)

月	9:00~9:30 病理カンファレンス (婦人科、頭頸部)
火	9:00~9:30 病理カンファレンス (肉眼臓器カンファレンス、消化管、腎、肝胆膵、morning case conference)
水	9:00~9:30 病理カンファレンス (乳腺、泌尿器、レジデントセミナー (CPC含む))
木	9:00~9:30 病理カンファレンス
金	9:00~9:30 病理カンファレンス

※臨床病理カンファレンスは毎週・隔週・不定期

※剖検会/簡易型CPC、brain cuttingは不定期、週1回抄読会あり

2) 病院病理部における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	顕微鏡を使うことができる。			
2.	病理標本作製の方法論を説明できる。			
3.	代表的な疾患の疾患概念・病理組織像を説明できる。			
4.	病理解剖について説明できる。			
5.	検査室における医療安全対策・感染対策を実施できる。			
6.	他診療科を含めたメディカルスタッフと協調性をもって行動できる。			

a=十分できる b=できる c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

<p>☆ 共通研修項目 minimal requirements ☆</p> <p>a) 顕微鏡観察： 光学顕微鏡観察：顕微鏡の理論を理解し、観察を行う 病理写真撮影：写真撮影装置を用いて病理写真を撮影する</p> <p>b) 標本作製： 臓器のホルマリン固定を行い、その後臓器の切り出しを行う パラフィン包埋・薄切・染色 (HE染色) など標本作製の基本を学び、病理診断のプロセスを理解できるようにする</p> <p>c) 各種病理診断： 典型例検鏡：研修医用の教育・典型症例 (各臓器) の自習、指導医との討議 報告書作成：診断書の下書き・報告書を作成、各種取扱い規約の理解</p> <p>d) 病理解剖研修：ビデオ学習、見学を行う</p> <p>e) 医療安全/感染対策/関係法規：業務・研修の中でレクチャー</p> <p>f) 他科・他職種連携：カンファレンスに参加する</p>	<p>☆ テーラーメイド研修 ☆</p> <p>a) 顕微鏡観察： 油浸レンズでの高倍率観察、電子顕微鏡による超微形態観察、蛍光顕微鏡観察を行う</p> <p>b) 標本作製：特殊染色 (銀染色など)、免疫染色を行う、細胞診標本を作製する</p> <p>c) 各種病理診断：<u>希望の専門分野を中心とする subspecialty training</u> = 希望分野を中心とした病理診断、ミニレクチャー、学会参加</p> <p>d) 病理解剖研修：副執刀を行う、剖検レポート作成を行う、CPC で症例を提示する</p> <p>e) 医療安全/感染対策/関係法規：病理診断時に指導医と討議・実習</p> <p>f) 他科・他職種連携：カンファレンスで症例提示</p>
---	---

病院病理部

4) 推薦書籍



難易度★
コメント

病理診断の方法論や病理所見用紙の読み方、検体の提出の仕方などについて自習したい人にオススメ。病理以外の科を志望する人にもオススメ。



難易度★
コメント

正常組織と典型的な病気の病理像を自習したい人にオススメ。

5) 事前アンケート

1. 将来希望診療科があれば教えてください。
(何科の病理を特に勉強したいなど、研修スケジュール調整のため)
2. 病理部研修でマスター・経験したいことがあれば教えてください。
3. 当直や休み(4週6休/特別休暇)の予定など、あれば教えてください。

6) 自由記載欄 (研修について要望などがあれば記載してください。)

--

7) 研修終了時、指導医との振り返り (必ず記載し指導医がセンターに提出)

できるようになったと思うこと (研修医記載)	不十分だったと思うこと (研修医記載)
できていると思うこと (指導医記載)	今後頑張ってほしいこと (指導医記載)
指導医氏名 (押印可) _____	
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか ~次へのアクションプラン (研修医記載)	

研修医氏名 _____